平成28年11月　№270

学　校　だ　よ　り

中央区立京橋築地小学校
東京都中央区築地２丁目13番１号

なつかしい保護者会から…

校長　茂呂　政孝

教え子の保護者の皆さんにお会いする機会に恵まれた時のことです。まだまだ若かった私はお母さん方といっしょに、なんとかよい子を育てようと必死の思いで毎日を過ごしていた頃でした。その頃のお母さん方との懐かしい保護者会（？）が開かれたのです。

教え子の中には、もう親になっている子どももいるので、お孫さんの話題まで飛び出すほどの和やかなひとときでした。

懐かしい話題の中で、「先生、覚えていますか？」と、よれよれのだいぶ疲れたプリントを取り出してきたお母さんがいました。それは、かつて保護者会で、いっしょによい子を育てようと意気盛んな頃の私のつたない字が羅列されたプリントでした。

そこには…次のような文字が並んでいました。

『正しい育児の原因と結果』

①　人に助けられて生きていることを教えると
　　…やさしい心の子どもができる
②　困難を乗り切らせると
　　…意志の強い子ができる
③　不便を味わわせると
　　…考え深い子ができる
④　弱い立場の人や動物にやさしくすると
　　…思いやりのある子ができる
⑤　お手伝いをさせると
　　…責任感の強い子ができる
⑥　リズムのある生活をさせると
　　…明るい健康な子になる
⑦　親が心を磨いているのを知ると
　　…知恵のある子になる
⑧　親が勉強しているのを知ると
　　…勉強好きな子になる
⑨　物を作る喜びを知らせると
　　…物を大切にする子になる
⑩　親が親を、祖先を大切にすると
　　…親思いの子になる

中央公論社の「創造育児学への招待」からのものでしたが、共に語り、共に悩み、共にうなずきあいながら、子どもたちの大きく成長した姿を夢見たことを思い出しました。お母さん方は、折に触れ、このプリントのひとつひとつを読み返し、子どもたちと向き合ってきたのだと言うことでした。目先の不便や困難を取り除くことだけが子どものためだと思いがちであったけれど、大切なことは子どもたちが、将来、一人で生きていけるだけの力をつけてやることが肝心なのだとも話していました。

もう、ベテラン（？）となったお母さん方から、また改めて多くのことを学んだ懐かしい保護者会でした。これからも子どもたちの未来を見据え、子どもたちの今を正しく見守っていきたいと強く願っています。

１１　月　の　行　事　予　定

２日（水）	４時間授業（５年生以外）就学時健康診断
３日（木）	文化の日
４日（金）	縦割り班遊び　教育実習終 三越ファーム体験学習（４年生）
７日（月）	全校朝会　避難訓練　委員会
８日（火）	個人面談①
９日（水）	保護者による読み聞かせ
１０日（木）	個人面談②
１１日（金）	個人面談③
１４日（月）	全校朝会　銀座郵便局見学（２年生） 校内研究のため４時間授業 ５年１組のみ５時間授業
１５日（火）	個人面談④
１６日（水）	個人面談⑤
１７日（木）	安全指導
１８日（金）	オリンピック・パラリンピック授業
１９日（土）	土曜授業日　食育授業(３年生)
２１日（月）	全校朝会　クラブ
２３日（水）	勤労感謝の日
２５日（金）	短縮６時間授業
２８日（月）	全校朝会 ６時間授業(４~６年生)
３０日（水）	６時間授業(３~６年生)

展覧会たのしみだな（2年生）

「たまごからポンッ！」ではハサミでたまごを切ったりおり紙をちぎってはったりしました。ほかの作ひんもくふうして作りました。てんらん会がたのしみです。みんなに作ひんを見てもらいたいです。早くてんらん会が来るといいな。

〇〇　〇〇

わたしは、「ねこちゃんのおさんぽ」の作ひんをがんばりました。がんばったところは、ねこちゃんがたのしくおさんぽできるように首わの長さをちょうせつしたところです。ねこの顔もかわいくしました。

〇〇　〇〇

わたしは、きょうどう作ひんで「魚・きょうりゅう・鳥」をみんなで力を合わせて大きくて、きれいな絵を作りたいです。こじん作ひんは「たまごからポン」をがんばって作ったので、おうちの人や友だちに見てほしいです。

〇〇　〇

ぼくは、「たまごからポンッ！」の作ひんで、おなかのところをがんばって作りました。はじめは、うまくできなかったけれど友だちからアドバイスをもらってやってみたら、うまくできました。いろんな人に見てもらいたいです。

〇〇　〇〇

わたしは、「たまごからポンッ！」でたまごにお花紙をはりつけることをゆっくりていねいにやりました。きょうどう作ひんは「魚・きょうりゅう・鳥」の大きな絵できれいに色をぬりたいです。ほかの学年の作ひんがたのしみです。

〇〇　〇〇〇

わたしは「ねこちゃんのおさんぽ」を見てほしいです。なぜかというと、たくさんの色をつかって、とってもきれいにかけたからです。見ている人にぜひたのしんでもらいたいです。

〇〇　〇〇

ぼくが見てほしい作ひんは、「にじの上には」です。なぜかというと、きれいなにじの上に、どうぶつがいるからです。色をたくさんつかってきれいなので、たのしんで見てほしいです。

〇〇　〇〇

「にじの上には」では、にじの上にゆうえんちをつくりました。とくにむずかしかったのは、のりものづくりです。かんらん車とジェットコースターがむずかしくて、かんらん車はドアの色を決めるのになやみました。

〇〇　〇〇

「たまごからポンッ！」では、とても大きいきょうりゅうをつくったので見てほしいです。がんばったところは、紙ねん土のきょうりゅうの中に、わりばしを入れて、ほねにしたところです。

〇〇　〇〇

「たまごからポンッ！」でがんばったところは、ひよこのくちばしと、手と足です。はさみでしんちょうに切りました。ていねいにつくった足と、くちばしをぜひ見てほしいです。

〇〇〇　〇〇

心に築こう！描こう！「カラフルなお城」

展覧会委員長　杉本　倫子

来る 12 月、3 年に 1 度の展覧会があります。児童が４月から、楽しみ、試行しながら、一生懸命制作してきた作品を展示する予定です。展覧会のテーマは、「カラフル・ランド」としました。体育館に足を踏み入れた時、日常とは全く異なる遊園地のような夢の世界を演出したいと考えました。今回は、個人の作品と全校で取り組む共同制作とを組み合わせ、体育館にお城を建てます。クラスごとにテーマを決め、お城の柱となる部分に絵を描いていきます。柱は５ｍから６ｍまでの高さがあり、幼稚園も含めて 13 本の柱が建ちます。お城の城壁となる部分には、児童一人一人が制作したステンドグラスを設置する予定です。

この先、子どもたちが目標を掲げ、何かを成し遂げようとする時、中には一朝一夕には解決できないことも出てきます。それでも一つ一つ石を積み重ね、最後にはカラフルに彩られたお城を心に大きく築いていって欲しいと願いながら、今回のテーマに決定しました。ぜひ、ご家族でお越しください。